

曲面加工のできる導光板

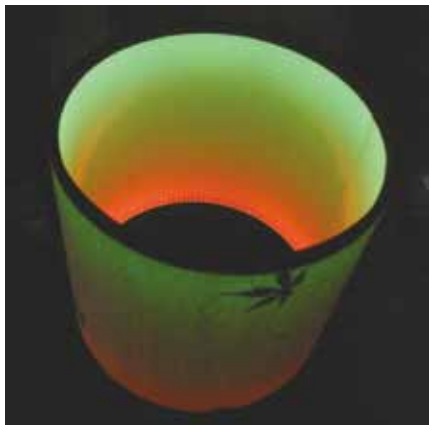
ワイ・エス・エム（八潮市）

高いデザイン性とフレキシブル性を兼ね備えた LED面発光体の開発

「新しいデザインの照明器具として提案していきたい」と八島哲也社長が期待をかけるのは、新製品の「フレキシブルフラットライトパネル（FFLP）」。「側面に仕込んだ発光ダイオード（LED）により均一発光を実現した

アクリル樹脂板で、曲面加工したり、らせん状にひねったりできるのが特長だ。硬質のアクリルを柔軟に曲げられる秘密は、レーザー

加工機で細かく入れたスリット（切れ込み）。LED導光板（発光パネル）など特殊照明を手掛け、JR九州のクルーズトレイン「ななつ星in九州」の車内照明を納入するなど技術力とデザイン性の高さに定評のあ



手漉き和紙を使ったFFLP。
赤と緑2色のLEDで淡い色彩が楽しめる

る同社。FFLPは「曲面を光らせたい」というニーズを受け、新進気鋭のプロダクトデザイナー福嶋賢二氏とのタッグで完成させた。従来の曲面加工に比べると金型や木型の製作がいらなかったため低コストで、施工スピードの向上が見込める。

クリアなアクリルだと光の透過率は90%以上だが、色付きだと透過率は下がる。これを発光面に使うと独特のグラデーションが出る。

また2色の違うLEDを光源にすれば色彩の交わりも表現でき、さまざまな演出も可能だ。さらに、ユネスコ世界無形文化遺産に登録された細川紙や、手漉き和紙とコラボした作品をシンガポールで来年行われるメゾン・エ・オブジェという展示会に出品することになった。

八島社長は「常に新しいことに挑戦し、わくわくするようなものづくりに取り組んでいきたい」と話している。

【株式会社ワイ・エス・エム】

本社工場は八潮市二丁目342の1。八島哲也代表取締役。建築金物のメーカーとして1992年創立。2011年からLED製品の生産に着手、LED導光板や特注照明を手掛け、JR九州のクルーズトレイン「ななつ星in九州」や「或る列車」などにも車内照明を納入している。従業員数は5人。